

令和7年9月25日

緑町聖ヨハネケアービレッジ

係長 赤澤龍哉

第1回緑町聖ヨハネケアービレッジ 地域連携推進会議

開催日時：令和7年9月25日

10時00分～12時00分

場 所：小金井聖ヨハネケアービレッジ本町1

出席者：・利用者代表 1名

・利用者家族代表 1名

・市町村担当者 小金井市 1名

・地域の関係者 元民生委員 1名

・職員 木下一美（東京事業部副部長・管理者・サービス管理責任者）

赤澤龍哉（係長）

1. 開会の挨拶 地域連携推進会議の目的 構成員紹介

目的：①利用者と地域との関係づくり

②地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進

③サービスの透明性・質の確保

④利用者の権利擁護

2. 当グループホームの概要説明 歴史 あゆみ

法人名：社会福祉法人聖ヨハネ会

障害福祉部門 東京事業部

事業所名：緑町聖ヨハネケアービレッジ

事業所番号：1323300697

所在地：東京都小金井市緑町4-5-10

開所日：2021（令和3）年3月1日

3. 地域連携強化、近隣からの苦情等の共有

○苦情対応

市町村担当者様

- ・緑町ケアビレッジに関して市の方へ大きい苦情は入っていない。引き続きこのまま利用者支援を続けていただきたい。

○地域連携

木下副部長

- ・周囲は集合住宅が多く、地域の自治会への参加が難しい。

利用者家族様

- ・都市部のため、周りの人たちとの交流は難しいと思う。現在、自分が住んでいる地域では、子供会等もなく、現在の風土からは難しいのではないかな。
- ・隣が保育園なので、うまく連携が取れば地域との交流ができるのではないかな。まずは保育園との交流をしてみてもどうか。

地域の関係者様

- ・現在、民生委員をしているが、町内でもグループホームは何かと聞かれる事があるので、その都度説明をしている。
- ・来年、社協との街歩きがあるので、一緒に参加してみてもどうでしょうか。

市町村担当者様

- ・緑町ケアビレッジは建物が安心安全なので、災害等があった場合は町内の方が頼ってくるのではと思う。

4. グループホームが提供するサービス

① 個別支援計画立案

サービス管理責任者が、入居者の既往・疾患・特性・性格をもとに、要望・悩み等をアセスメントし、個別支援計画を立案する。

② 個別支援

個別支援計画をもとに支援を実施

(個別支援内容例)

- a.食事提供支援 アレルギー、禁食、食形態に応じた食事を提供
- b.声かけ 食事、入浴、トイレ、掃除、服薬、身だしなみ等、必要に応じて
スタッフから日常生活における声かけ、支援の実施
- c.服薬管理、金銭管理 本人の管理能力に合わせて提供
- d.巡回、巡視 夜間時の変化、安否確認
- e.保護者、家族対応 随時、家族・保護者に入居者の現状報告

地域の関係者様

- ・災害時における障害者の計画等も市で考えてほしい。
- ・近隣に対してグループホームにも備蓄倉庫が必要ではないか。他の所では障害者・高齢者を受け入れるグループホームがある。
- ・現在、株式会社のグループホームが多く、心配なところが多いが、緑町ケアービレッジは社会福祉法人なので安心である。

市町村担当者様

- ・災害時には、福祉避難所を立ち上げるようになっている。

利用者家族様

- ・福祉避難所に蓄電池等災害時の設備などをつけばよいのでは。

市町村担当者様

- ・現在検討中である。ヨハネ会は小金井聖ヨハネ支援センターの建物が福祉避難所になっているため、市への要望があれば伝えてほしい。

5. 緑町聖ヨハネケアービレッジの一日

【別紙参照】

6. 虐待、ヒヤリハット、事故の報告

【別紙参照】

7. 支援者の配置

【別紙参照】

- ・小金井聖ヨハネケアービレッジ職員メンバー表

8. 入居状況報告

男性9名 女性6名

2名のショートステイあり。

9. 質疑応答

10. 施設内見学

11. 閉会の挨拶